



2025年5月7日

各 位

会 社 名 あすか製薬ホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 山口 隆
(コード番号 4886 東証プライム)
問い合わせ先 グループ経営企画部長 市川 学
(TEL. 03-5484-8366)

日本政策投資銀行「DBJ 健康経営格付」で最高ランクの格付を取得

同融資による資金調達を実施

あすか製薬ホールディングス株式会社(本社:東京都港区／代表取締役社長:山口 隆、以下「当社」)は、株式会社日本政策投資銀行(本社:東京都千代田区／代表取締役社長:地下 誠二、以下「DBJ」)から、健康経営格付融資による資金調達を実施し、同融資の「DBJ 健康経営(ヘルスマネジメント)格付」において、当社は初めての評価でありながら最高ランクの格付を取得しました。



「DBJ 健康経営格付」融資は、DBJ が提供する「健康経営格付」の専門手法を導入した世界で初めての融資メニューです。DBJ 独自の評価システムにより、従業員の健康や働き方への配慮に関する取り組みに優れた企業を評価・選定し、「健康経営格付」を付与します。当社は、「従業員の健康配慮への取り組みが特に先進的で優れている」と、以下の点を評価されました。

■「DBJ 健康経営格付」における当社の評価ポイント

- ① 「スペシャリティファーマを基盤とするトータルヘルスカンパニー」の実現を見据えた生産性や創造性向上の土台として健康経営を位置づけるとともに、中期的な計画を策定し、独自アンケート調査にて把握した組織的な意識の変化を踏まえて重点施策を展開しながら企業価値向上に向けた高度な健康経営を実践している点。
- ② 健康 KPI として掲げるプレゼンティームの低減に向けて、自社製品を活用した「コーポレートアイデンティティ企画」等により従業員の自律的な健康管理の定着に取り組むとともに、ライフィベントによる休職者を代替する従業員に向けた「ワークサポート支援金」等の導入により多様な働き方への相互理解を促進することで、意欲的に働き続けることができる環境整備に注力している点。

③ 従業員が自ら変革し成長する組織風土の醸成に向けて、経営層との頻度の高い対話機会により生命・健康に貢献する自社の存在意義を再認識する機会を設けるほか、目標及び評価を従業員相互に開示した透明性の高い人事評価を実施することで、従業員自身が納得感を得ながら自発的に挑戦する仕組みを構築し、従業員エンゲージメントの向上を推進している点。

■あすか製薬ホールディングスの健康経営の取り組み

当社は、「先端の創薬を通じて 人々の健康と明日の社会に貢献する」という経営理念のもと、企業活動を推進しています。その原動力は「人財」であると考え、全従業員の健康を経営的視点から捉え、健康管理と働き方改革の両輪で取り組むことで、生産性と創造性のさらなる向上を図り、持続的な成長を目指しています。

2024 年度は、全従業員を対象に甲状腺機能検査を実施し、プレコンセプションケアにおける甲状腺ホルモン検査の重要性や甲状腺疾患に関する理解を深めるセミナーも開催しました。また、同僚のライイベントをポジティブに受け止める組織風土の醸成を目的として「ワークサポート応援金」を創設。休職をサポートした従業員を組織全体で評価し、応援金を支給する仕組みを導入しました。さらに、治療と就業の両立を支援する施策として、全従業員が加入する「がん保険」制度を導入し、安心して働き続けられる環境づくりに取り組んでいます。

今後も当社は、従業員一人ひとりのいきいきとした働き方を支え、組織全体の活力を高めるとともに、社会と「健康」という価値ある幸せを分かち合えるよう、あらゆる角度から健康経営を推進し、健康で豊かな社会の実現に貢献してまいります。

【参考】

【あすか製薬ホールディングス株式会社 健康経営の取り組み】

<https://www.aska-pharma-hd.co.jp/csr/social/health.html>

【あすか製薬株式会社 女性のための健康ラボ Mint⁺】

<https://www.aska-pharma.co.jp/mint/>

以上